

県展特賞受賞おめでとうございます

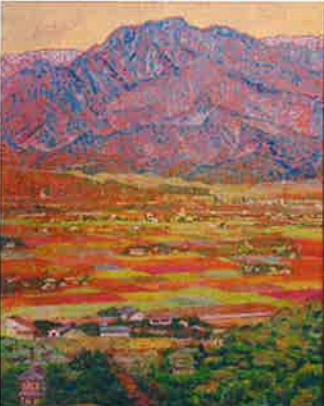
理事長 棚井 哲雄

洋画の佐藤政一様、そして彫刻の鈴木しのぶ様におかれましては、令和2年度茨城県芸術祭美術展覧会で、特賞受賞おめでとうございました。

県展は入選すら、たいへんという中での入賞は更にたいへんで、ましてや各部門1名のみの最高賞に選ばれたということになります。最大に名誉なことです。しかもその最難関の中、我が東海美術連盟から、洋画と彫刻部門において同時に2名が選ばれ

洋画 特賞

安曇野と有明山



受賞の言葉 佐藤 政一

このたびの受賞は、驚きと感謝でいっぱいです。県展で受賞歴もない私に、このような賞を下さった審査の先生方に感謝しました。そして何よりも86歳の今日まで、一緒に絵を描かせて下さった東海美術連盟、そしてアートフラッグの皆様に心から感謝申し上げます。

このモチーフも、東海美術連盟のスケッチ旅行で出会った安曇野の風景です。北アルプスの稜線への視界を大きく遮るこの山の魅力に気が付き、描くようになりました。

私は若い時から健康に留意し、その効果も出ていたつもりでしたが、近年体のあちこちにガタが来て、特に眼の衰えに悩んでいます。描くのに時間がかかり、この絵も完成に四年かかってしまいました。しかし、そろそろこの辺で引退などという気はありません。

これからも引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。

彫刻 特賞

ゆりかごの唄



受賞の言葉 鈴木 しのぶ

我が家に今年赤ちゃん（孫）が生まれ、家族が増えました。ギューッと手を握りしめ、スヤスヤした寝顔に癒され、力を込めた大きな泣き声で、精一杯自己主張する姿に、愛おしさを感じました。

制作していたのは、ちょうどコロナ禍で世界中が混乱している時期でした。子守歌を歌いながら皆の幸せを祈っていました。私の生活の中から生まれてきた作品です。

今回はテラコッタという素材で等身大の大きさにつくりました。粘土を搔き出したり、パーツをつなげたりする作業に時間がかかりました。彫刻は時間と体力が必要だと改めて感じました。

東海村美術連盟彫刻部の皆さんと活動していることが、作品制作に繋がっています。皆さんに感謝でいっぱいです。



彫刻 支部

北沢 努さんに

Tea タイム

A 美術の道を志すきっかけと彫刻を選んだ訳と彫刻の魅力は。小学生の頃から、図工美術は好きな授業でしたので、中学はもちろん、高校も選択で美術の授業を受けました。美術作家では生活苦になると考え、美術教師を目指せる茨城大学教育学部美術科へ進学しました。

単純に「好きだった」ということがきっかけです。生意気にも大学1年生の時に、4年生の卒業制作（彫刻）を見て自分がもっとすごい作品を作れると過信したのがきっかけです。彫刻を選ぶ学生が少なかったのも理由です。身の程知らずのあまのじゃくでしたね。彫刻の魅力は手で造れて、触れて形を確かめられることです。無の状態から有を生みだし、存在させられることです。

A 作品「森に棲む」シリーズの北沢さんの「森」とは。生まれ故郷でしょうか。幼少の頃遊んだ父が所有している実家の付近の雑木林ですね。

A 東海村で「彫刻洗い隊」の活動をされてますが、活動を通じて思うことは？

A 日本全国的にこれほど野外彫刻を大事にしている街はありません、山口県宇部市ぐらいでしょうか。他に都内や美大で活動している例はありますが、村民主体の活動は貴重です。

《北沢努さんのおもな作品所蔵先》

日立市郷土博物館 東海駅待合室 水戸市立博物館 城里町グリーンなかさい
山口県宇部図書館「学びの森くすのき」

A 美術連盟の大先輩の彫刻家の山崎猛先生との忘れないエピソードがありましたら？

A 学生時代に山崎先生から「君のライバルは誰か？」と聞かれ「山崎猛」と答えたら「おまえなんかに負けるか」とおっしゃって、無言でいたら、「山ちゃんなんかに負けるなと言い返せ」とおっしゃいました。忘れられないエピソードです。

A 何か皆さんにお伝えしたいことがあります。

A 彫刻でご迷惑をおかけしているかもしれません、それ以上に、何十年何百年後に恩返しはできるのではと考えております。長い眼で温かく見守っていただければ幸いです。



アトリエで作品『森に棲む』を制作中

フランスでも個展をしたい

東海美術連盟東支部の会員の銅版画家の蒲原康子さんが、このたびUAE(アラブ首長国連邦)のドバイで開催(10月に開催)された国際アートフェア「ワールド・アート・ドバイ」の「ジャパン・ゾーン」の出展作家として選出されました。このアートフェアは中東のほか、欧州やアジアなどを含む約2千点もの現代作品が出品されました。

蒲原さんは今回選ばれたことの喜びを、こう話しています。「選ばれてうれしい。自分の表現が世界でどのように受け止められるのか、見定めてみたい。」

今回出品された銅版画の作品は「かけがえのないもの」という表題のシリーズ5点など、計6点が展示されました。

蒲原さんは制作のコンセプトについて「作品の前

に立つだけでオーラを放つような作品を作りたい。」ことを挙げています。そして、今後については「いずれはフランスで作品を発表したい気持ちがある。」版画にひかれるのは「刷り上がりのわくわく感。いいものができた時の喜びの深さ」と話しています。



帰国後アトリエで出品作品ではない、銅版画の作品)を見せていただきました。

彫刻洗い隊出動



10月30日と11月1にかけて、彫刻洗い隊は駅前の彫刻や役場の彫刻、図書館周辺の彫刻を洗う。ブロンズ彫刻は洗浄とワックスをかけて磨きました。今年の活動は3月まで予定されています。

ホコリや鳥のふんなどでかなりよがれている彫刻もあり、手をかけてとの艶やかさにもどしました。

Information

ジュディ小品展

12月5日～12月11日

東海村文化祭

美術連盟は12月13日～12月19日

東海村の作家展2021

1月8日～1月16日 東海ステーションギャラリーA【県展員、会友、推挙、受賞者、入選者】

アートロードキックオフ

ギャラリーせらうい(笠間市)

【中田、木梨他】

東海美術連盟新年会

1月16日

アートロード展

2月1日～4月30日

アートロード東海ステーションギャラリー展(絵画部門)

2月7日～2月13日
(書・写真部門) 2月14日～2月20日

コスチュームデッサン会

2月予定(担当:彫刻支部)

アートフラッグ小品展

2月28日～3月6日

最後の紙芝居の絵を担当



11月1日文化祭に合わせて、東海村民話紙芝居が図書館交流ラウンジで上演されました。

東支部の高野千夏子さんが民話再生の会に協力、この30回をもって終わる最後の紙芝居の絵を描きました。

公募展だより 推挙・入選おめでとう

55周年記念 茨城県芸術祭 美術展覧会

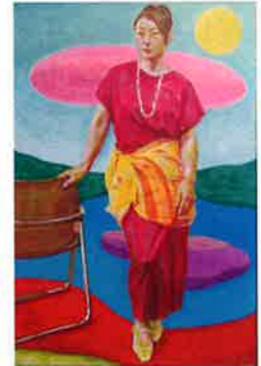
10月3日～10月18日 第1会場 茨城県近代美術館

■日本画



ころん
川崎 志保

■洋画



旅立ち
山崎 克一



晴れ時々くもり
栗原 豊



揺らめく
柴田 伊久代



春の渓谷
豊島 和久



夜のcity master
齋藤 七重



廃屋
鴨志田 範夫



希望×花II (木版画)
蒲原 康子

■彫刻



支える
木村 隆



(会友推挙)
前進あるのみ
鈴木 澄枝



白い花の記憶
井坂 咲子



白い月と青い鉢虫
三澤 宇紀子

☆次の方々も、出品、展示されました。紙面の関係で作品は割愛しております。

●洋画



心強き女
鈴木 綾子

●彫刻

高橋忠治第55回審査員(会員)
石山匠(会員) 中田里美(会員) 木梨るみ子(会友)

村山悦子第55回審査員(会員)
海老根美奈子(会員)